

紀宝町役場企画調整課

〒519-5701 三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 324

TEL/0735-33-0334 FAX/0735-32-1102

<https://www.town.kiho.lg.jp/>

イラスト 紀宝町出身 絵本作家 やまもと しんじ



ウミガメに 会いに行こう！

ぼくに会いに
きてね！



紀宝町の七里御浜海岸には、5月下旬から8月上旬にかけてアカウミガメが産卵にやってきます。町では、ウミガメが安心して産卵できるよう、また、産み落とされた命を大切に守るため、「紀宝町ウミガメ保護条例」を制定し、ウミガメ保護監視員による保護活動や道の駅「紀宝町ウミガメ公園」を通じた保護啓発活動を行い、環境保全の大切さを訴えています。

ウミガメの保護活動



七里御浜海岸



ウミガメが紀宝町の
海に産卵に来るのは、
海がキレイだからなんだよ

町は昭和63（1988）年、全国の市町村で初となる「ウミガメ保護条例」を制定。ウミガメ保護監視員による海岸パトロールのほか、小学生による保護活動への参加など、「ウミガメ保護」という紀宝町ならではの取り組みを通して、町民一人ひとりに、環境保全の大切さを呼びかけています。

ウミガメとふれあえる道の駅 紀宝町ウミガメ公園

道の駅「紀宝町ウミガメ公園」は、ウミガメの保護啓発活動の拠点で、ウミガメの生態を学んだり、オサガメのはく製などを見学することができます。また、物産館では、地元で採れた新鮮な農産物や海産物、お土産など特産品の販売のほか、2階のレストランでは地元の料理が食べられます。



MAP 6-C

- 営業時間・休業日など
ふれあいパーク / 9:00～18:00（年中無休）
入館料 / 無料
物産館 / 11月～2月 8:30～18:00（年中無休）
3月～10月 8:30～19:00（年中無休）

- 問い合わせ先
道の駅「紀宝町ウミガメ公園」
〒519-5711 三重県南牟婁郡紀宝町井田 568 番地 7
ふれあいパーク TEL/ 0735-32-3686
物産館 TEL/ 0735-33-0300 FAX/ 0735-33-0301



1. プールで泳ぐウミガメ。
2. 物産館では地域の特産品を販売。
3. レンタサイクルやシャワー室もあり。

ここでしか 出会えない絶景！

滝を眺めながら
キャンプを楽しもう！

飛雪の滝キャンプ場

高さ30mの飛雪の滝を間近に臨む全国でも珍しい飛雪の滝キャンプ場は、「テントサウナの聖地」と呼ばれ、熱せられた体を天然の水風呂の滝つぼで冷やせば、身も心もスッキリ「ととのう」ことができます。さまざまなアクティビティが豊富にそろい、キャンプ初心者や家族連れが快適に楽しめます。

MAP 2-C



飛雪の滝



1. 定員5名までのコテージは、エアコンが付いた和室のほか、お風呂やキッチン、トイレ、ロフトがあり、オールシーズン快適にお過ごしいただけます。2. 泳ぐことのできる滝つぼは、夏には多くの人にぎわいます。3. 研修室には、定員20名まで宿泊可能。4. 地域産品と日用品・キャンプ用品を販売する売店。5. 滝の音がこだまする緑豊かな森と小川に囲まれたテントサイト。



滝つぼで泳げる
なんて最高だね！

自然とふれあえる体験メニュー



1. テントサウナの聖地でサウナ体験 / サウナで温まった後は、滝つぼの天然水風呂に入って、身も心もスッキリ。2. 二の滝＆渓流トレッキング / 飛雪の滝上流にある「二の滝」やナメラ（一枚岩）の渓流を散策できる。3.SUP（サップ） / ハワイ発祥のマリンスポーツで、サーフボードより大きめの SUP 専用ボードの上に立ち、パドルを漕ぎながら水面を進んでいくアクティビティ。4. レンタサイクル / ほんの里100選に選ばれた美しい浅里の集落をのんびりサイクリング。

■ 定休日 年中無休

■問い合わせ先

紀宝町飛雪の滝キャンプ場

〒519-5718 三重県南牟婁郡紀宝町浅里 1409-1
TEL / 0735-21-1333 (9:00 ~ 17:00)

季節を楽しむ イベント！



光の祭典 in 紀宝

約20万球のイルミネーションが山間の暗闇に輝く紀宝町の冬の風物詩。シンボルの高さ約20mのツリーや光のトンネルなどが会場を彩り、幻想的な世界が目の前に広がります。

開催時期：12月1日～1月上旬



紀の宝みなと市

軽トラ市、テント市、フリーマーケットで構成される朝市。鵜殿港で開催され、新鮮な農林水産物、弁当、惣菜など町の特産品が多数販売されており、地元の生産者や事業者から直接購入することができます。

開催日：毎月第2土曜日



ほたる灯ろう展

ホタルを通して自然保護への関心を高めてもらうことを目的に開催されているイベント。子どもたちが描いたたくさんの灯ろうが会場を幻想的に彩るほか、子ども太鼓団体「ほたる夢太鼓」による演奏などステージでの催しも行われます。

開催時期：5月下旬



大里自然プール MAP 4-B

相野谷川上流に位置する、川の水をせき止めて作られる自然のプール。その名のとおり山々に囲まれた自然豊かな環境にあり、例年多くの子どもたちや家族連れが訪れ、水泳や川魚の生態観察など、大自然を満喫しています。

プール開放時期：7月中旬～8月末

天気のいい日は トレッキング！

山頂からの眺めは絶景！



子ノ泊山トレッキングコース



約4km、3時間(往復) 中・上級者コース



※道に迷う方が多いコースです。初めての方は、経験者に案内してもらいましょう。



子ノ泊山 ねのとまりやま

標高907mの紀宝町の最高峰の山。頂上からの眺望は最高で、南には太平洋熊野灘、北には紀伊山地の山並みと帯のように延びる熊野川が見渡せます。干支にちなみ子年には、縁起を担ぐため多くの方が「子ノ泊山」を訪れます。



大鳥帽子山 おえぼしやま

東紀州の山々の中でも随一を誇る展望スポット。登山道も整備されており、初心者でも上りやすい標高362mの山。頂上からは、世界遺産にも登録されている七里御浜海岸や、熊野・紀州の山々が見晴らせます。



約4km、2時間(往復) 初・中級者コース





思い出に残る 体験をしよう！

世界遺産にも登録されている「熊野川」をフィールドにした、ファミリーで楽しめる川遊びから雨天時にも気軽にできるアロマ体験まで、紀宝町の自然を存分に活用したことしかできない体験は一生の思い出になります。



MAP 4-B

紀宝町の渓谷を遊び尽くす、アドベンチャーアクティビティ

キャニオンズ紀宝

キャニオンズ紀宝では、紀宝町の渓谷を使ったキャニオニングを体験できます。

キャニオニングは、さまざまなアウトドアスポーツを取り入れた魅力あふれるスポーツで、その中でも崖から滝つぼへの飛び込みや滝が流れる岩場を滑る天然のウォータースライダーなど、日常では味わえない刺激がたくさん。マイナスイオンをたっぷり浴びて心も体もリフレッシュできます。



お問い合わせ

〒519-5835 三重県南牟婁郡紀宝町大里1742-1
TEL/ 050-4560-3800 (8:00 ~ 17:00)



MAP 3-E

伝統の川舟でめぐる世界遺産の旅

熊野川体感塾

熊野川体感塾では、世界遺産熊野川を川舟で巡る「三反帆（さんだんぱ）遊覧」を体験できます。三反帆は全長8.6m、幅1.6mの船体に3枚の帆を5 mほどの帆柱に揚げ、風をとらえて進む川舟です。水の流れる音や鳥が羽ばたく音などを聞きながら、世界遺産・川の参詣道を「三反帆」に乗って、のんびり巡ってみませんか。

お問い合わせ

〒519-5716 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖203
TEL/ 0735-21-0314 (9:00 ~ 17:00)



MAP 2-C

自然のアロマに癒されよう

くまの里山体験 のら

くまの里山体験のらが提供するのは、香りを楽しむ時間です。季節の草花や果実を細かくカットし、蒸留器で香りを抽出していきます。蒸留している間、バスソルトやキャンドルなどアロマクラフト作りもします。抽出した蒸留水とクラフトはお持ち帰りでき、室内の体験は雨の日でもお楽しみいただけます。

お問い合わせ

〒519-5718 三重県南牟婁郡紀宝町浅里1531-2
TEL/ 0735-30-1300 (9:00 ~ 17:00)



MAP 2-C

大人も子どもも夢中になる川遊び

くまの・川遊び部

くまの・川遊び部では、パックラフトというゴムボートを使った熊野川の遊覧体験や滝遊びなどを提供しています。パックラフトは安定性の高さが特徴の一つで、小さなお子さんから元気なシニアまで、安全に楽しめます。熊野川の雄大な景色をのんびり堪能し、日ごろの疲れをリフレッシュしてみませんか。

お問い合わせ

〒519-5718 三重県南牟婁郡紀宝町浅里1520
TEL/ 090-1077-1725 (9:00 ~ 17:00)



世界遺産

熊野川

くまのがわ

熊野本宮大社から河口部に位置する熊野速玉大社までの約34kmが世界遺産に含まれる。中辺路を通り熊野三山を参詣する場合には、舟運によって往復することが多く、「川の参詣道」として貴重な世界遺産。

MAP 3-E



御船島

みふねじま

熊野速玉大社の境内の一部。毎年行われる熊野速玉大社の例大祭「御船祭」のときには、諸手船、神幸船、早船が三度この島を廻ることから御船島と呼ばれる。

MAP 3-E



平成16年7月に「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録された熊野古道。

熊野古道は、熊野三山である「熊野本宮大社」、「熊野速玉大社」、「熊野那智大社」へ参るための道で、代表的なルートとしては、紀伊半島の西岸を通行する「紀路(紀伊路)」、東岸を通行する「伊勢路」があります。熊野三山への参拝は、10世紀前半から始まり、15世紀ごろまで盛んに行われており、あこがれの地・熊野を目指して多数の参詣者が列をなし

て進んだことから、「蟻の熊野詣」と形容されるほどでした。深い緑や道端にたたずむ史跡など、熊野古道は今もなお、訪れる人に癒しとロマンを与えてくれます。

紀宝町にも、熊野古道の一部として世界遺産に登録されたところが3か所存在します。熊野速玉大社の境内の一部である「御船島」、世界で初めて川自体が世界遺産登録された「熊野川」、弓なりに約18kmにわたって広がる海岸「七里御浜」です。

七里御浜

しちりみはま

平坦な砂礫の海岸で、熊野速玉大社へ向かう参詣道として19世紀後半まで利用されていた。弓なりに約18kmにわたって広がる景観は、熊野参詣道伊勢路第一の景勝の地として親しまれている。

MAP 6-C



紀宝町の歴史と文化



3枚の帆を持つ伝統舟 三反帆 さんだんぱ

自動車などの交通手段がないころ、熊野川の急流に負けず、旅人や生活物資を運んだ伝統的な川舟。3枚の帆を掲げ、風をとらえて進む特徴的な川舟で、現在は、「熊野川体感塾」が実施する遊覧体験で熊野川の川下りを楽しむことができます。

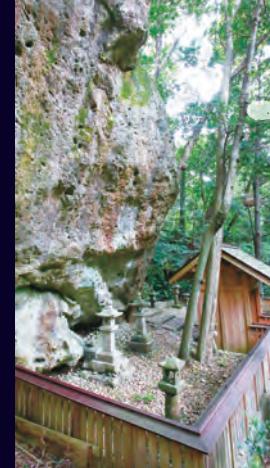
MAP 3-E



安産の神様として有名 神内神社 こうのうちじんじゃ

自然岩の岩窟を御神体とする神社。樹叢（じゅそう）は県の天然記念物に指定されています。別名「子安の宮」とも呼ばれ、全国から安産祈願に訪れており、無事に出産を終えた方々が持参した子供のよだれ掛けが境内に奉納されています。

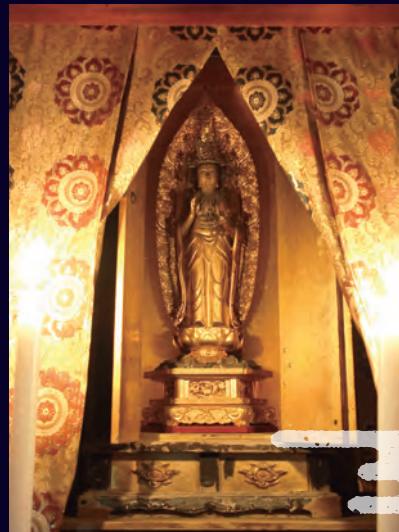
MAP 5-D



井田観音 いだかんのん

海からきた観音様として言い伝えの残る本尊は鎌倉時代の作といわれています。昔から「厄落とし」の観音として有名で、戦前は厄年の男女が厄払いに訪れにぎわいました。今でも近くの巡礼坂が当時の賑わいを思い出させてくれます。町有形文化財。

MAP 5-C



井田観音盆踊り(ぼうき踊り)

毎年8月9日に井田観音境内で踊られている伝統的な踊り。「ぼうずり」と呼ばれるぼうきのようなもので、水田の害虫を掃きだした様子から生まれたとされ、ぼうきを使ったとても珍しい踊りです。町無形民俗文化財。



平尾井薬師 ひらおいやくし

11世紀に白河法皇が熊野三山へ御幸された際に勅願（ちょくがん）し建立された薬師堂。本尊の薬師如来像は熊野三仏の一つで首から上の病にご利益があるといわれ、今でも多くの人々が樹齢数百年の大木が並ぶ本堂まで続く長い参道を通って参拝に訪れます。

MAP 5-B



平尾井踊り

毎年8月16日の夜、平尾井薬師で奉祀（ほうし）される伝統的な踊り。境内は、威勢のよい掛け声と太鼓の音色に包まれ、踊り子たちは、「くどき」と呼ばれる唄に合わせて、器用に日の丸の扇子を回しながら、優雅に舞い踊ります。町無形民俗文化財。



早船競漕

諸手船 もろとふね

熊野速玉大社例大祭の御船祭りで見ることができ
る全長13.4m、肩幅2.1m
の船。この地方の捕鯨船
の祖形となったと伝えら
れています。県有形民俗
文化財。

MAP 4-E



鶴殿城跡 うどのじょうしき

今から7~800年前、熊野水軍が活躍していたころ
にこの地を治めた鶴殿氏の築城跡。小高い丘の頂上
に、周囲を土で土手状に積み上げ、中が窪地になっ
ている搔上式土塁（かきあげしきどりい）という方
法で作られ中世山城の特徴をよく残しています。

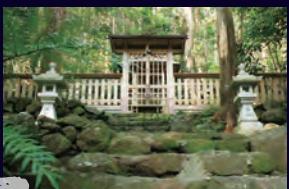
MAP 4-E



京城跡 みやこのじょうせき

室町時代に新宮城主堀内氏善が築城したとされて
いる城跡。山城としては全国的に希少な石垣づく
りの城壁も築かれていたことから、かなりの規模
と威容を誇る城であったと考えられていますが、
文献は少なく、多くの謎に満ちた城跡です。

MAP 4-B



貴祿谷社 きねがたにしゃ

諸国を遍歴した熊野神は新宮神
倉（蔵）山にお祀りしましたが、
後にここ貴祿谷にお祀りしまし
た。その後、新宮への移御の時に、
鶴殿諸手船が神船を先導した様
子を再現したのが速玉大社御船
祭といわれています。



鳥止野神社 うどのじんじゃ

明治40年に鶴殿地区に散在して
いた祠堂（しどう）がここに合祀
されました。鳥止野神社を取り囲む
2,604平方メートルの宮の森は、
多種多様の草樹が自生する珍しい
暖帯林で町の天然記念物に指定さ
れています。

MAP 4-E



加持鼻王子権現跡 かじはなおうじごんげんあと

かつて熊野古道の伊勢路にあった
王子（熊野詣の休憩所と遙拝所を
兼ねていた場所）のひとつ。特徴
のある形が印象的ですが、過去に
津波によって2度流れされ、現在は
井田上野口JRガードの近くに移
し祀られています。

MAP 5-E



ふるさと資料館「みどりの里」

MAP 4-C

昔、熊野川を往来した屋形舟をイメージして木をふんだんに使った外観が目印です。館内には、昔の暮らし
ぶりを伝える民具や農具、埋蔵文化財、産業器具など約500点がテーマ別に展示されています。陶芸などができるふれあい体験コーナー、茶道や生け花などに利用できる和室、パネルギャラリーなどがあります。



MAP 4-E

紀宝町でみかんを食べよう!

温州みかん

紀宝町で生産量が一番多く、気温が下がるにつれて甘みが増す秋の定番の果物です。



せとか

薄く滑らかな果皮で、たっぷりの果汁と果肉の甘さが特徴。



ポンカン

甘みの強いコクのある味わいと特な甘い香りが特徴。

セミノール

鮮やかな赤橙色の果実で、果汁が多く、独特な芳香が特徴。



不知火 しらぬい

凸形が特徴的で、濃厚な甘さとまろやかな酸味が特徴。



紀宝町みかんカレンダー

温 … 温州みかん

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月



食べ比べてみる
のも楽しいね!



10月
11月



11月
12月



12月
2月

皮の青いマイヤーレモンは、ライムのような酸味と爽やかさがちょうどよいバランスで、香りもよく、料理はもちろんジュースやカクテル、ハチミツ漬けに適しています。

酸味と甘さが程よくなったマイヤーレモンは、皮も食べられるので、刻んでサラダに入れたり、香りの良さを活かして焼き菓子やジェラートなどのデザートに適しています。



紀宝町は
1年中みかんが
採れるのよ



浅里

あ
さ
り



浅里なれ寿しまつり

郷土料理「なれ寿し」で、地域の活性化や食文化周知を図るため行われています。なれ寿しの販売や振る舞いが行われ、多くの人でぎわいます。開催時期：1月下旬



浅里のなれ寿し

紀宝町浅里地区には、全国的にも珍しい食文化「なれ寿し」があります。なれ寿しとは、主にアユやサンマなどの魚を塩と米飯で発酵させた保存食品で、寿しの原型ともいわれるほど古い歴史がある料理方法です。浅里地区では、なれ寿しはもともと正月に食べられてきましたが、今では、冬場の郷土料理として受け継がれていて、各家庭で作られ、食べられています。

受け継がれる郷土の味 「浅里のなれ寿し」の作り方

なれ寿しの作り方は、その家庭によって材料や作り方もそれぞれ個性があり、異なりますが、ここでは、浅里地区の「なれ寿し作り歴60年」という大ベテランの作り方について、ご紹介します。浅里のなれ寿しは、今は主にアユやサンマを使用しますが、昔はサンマではなく、アユだけで作られていました。また、作り方も違い、今は発酵させるのに16日から18日間寝かせるのに対し、昔は1か月間じっくりと寝かせていました。



材料

米…1升、サンマ…18匹、酒…少々、木箱…1升用、重石…3.5キロ、ウラジロの葉…たくさん、山ミョウガの葉…たくさん



1. サンマの内臓を取り除いて水洗いし、水を切って塩をまぶし込む。桶に重ね乗せて重石をし、20日以上塩漬けにする。



2. 普段の約2倍の水で柔らかめに炊いたご飯を冷まし、魚の形に細長く握る。木箱を用意し、木箱の底にウラジロの葉を敷き詰める。



3. 塩抜きした魚の上に、細長く握ったご飯を乗せ、その上に山ミョウガの葉を添えて、巻きすをを使って丸形を整える。



4. ミョウガの葉を合わせ、木箱に隙間なく詰める。その上にまたウラジロの葉を敷き詰め、また魚を詰め何度もこれを繰り返す。



5. 一番上に再度ウラジロの葉を敷き詰め蓋をし、重石を乗せて一晩寝かせ、翌朝、木箱に水を注ぎ、冷暗所で16~18日間程寝かせる。



6. 寝かせている間に、中が凍ってしまうと白カビが発生しないため、凍らないように、毛布や新聞紙などで温度を調整する。



7. 寝かせ終わったら、上部の白カビが木箱の中に入らないように洗い流し、蓋をしたまま逆さにして、中の水を約6時間かけて抜く。



8. 中の水を抜き終わると、なれ寿しのできあがり。1週間以内に食べないと、独特な風味が損なわれてしまう可能性が高いので注意。

おすすめの食べ方

浅里のなれ寿しは、なにも付けずに食べられるよう味付けされていますが、お好みで一味醤油で食べるのもおすすめ。



たくさんの工程を経て、なれ寿しは作られているのね



紀宝町の特産品

紀宝町には柑橘やなれ寿しのほかにも、海産物や農産物などさまざまな特産品があります。



飛雪米

浅里地区にある飛雪の滝の湧き水で育てたお米です。

平成29年には宮中行事にも献上されました。



無添加玄米酢

古式天然醸造酢造りにこだわったお酢。昔ながらの静置発酵法によって自然発酵・熟成させて造りあげた自然食酢です。



さんま寿し

秋から冬にかけて熊野灘でとれる脂肪の抜けたさんまを使ったお寿し。熊野灘沿岸一帯の郷土料理です。

干物

昔ながらの手作業の天日干しで作られるさんまの丸干しをはじめとした干物は、潮の香りと旨味が凝縮した東紀州地域の自慢の一品です。

めはり寿し

紀州地域の郷土料理。高菜の葉をご飯に巻いたお寿しで、紀州地域の家庭でもよく作られています。



れんげ米

肥料の代わりにレンゲ草をすき込み、農薬を軽減した環境に優しいお米です。町内の学校給食にも使用されています。



なめこ

高級食用きのこであるなめこは独特の粘りと歯切れの良さがおいしいふるさとの珍味。森のエキスをたっぷりと堪能できます。

伊勢海老

地元熊野灘で水揚げされた新鮮な伊勢海老。お刺身やお味噌汁などいろいろな食べ方で楽しめます。



紀宝町移住定住支援制度



紀宝町では、移住・定住される皆様の住環境向上を目的として様々な支援制度を実施しています。



大山さんファミリー

自然の中で楽しかった、子育てもこれから気になるところ、そこも安心して生活できるような形にしたいということで、紀宝町を選びました。台所から見える風景も気に入っています、のんびりとしていて開放感たっぷりです。タイミングよく、今の家に巡り合えて本当にありがとうございます。移住前に思い描いていた、予想通りの田舎生活を送ることができています！



空き家バンク事業

紀宝町に移住・定住を希望される方に町内の空き家情報を提供しています。(売買物件と賃貸物件があります。)



結婚新生活支援補助金

紀宝町内に居住する 39 歳以下の新婚夫婦を対象に、住居費（住居の購入費、賃料、敷金、礼金等）、引越費用、及びリフォーム費用を補助します。

補助金額 一世帯あたり上限 30 万円
(夫婦ともに 29 歳以下の場合は上限 60 万円)



移住新生活応援事業

県外からの移住に伴う新生活の支援を行うことにより、移住・定住を促進し、地域の活性化に資することを目的として、移住した方に対して、生活費の一部を補助するため商品券を交付します。

支援額 住居費、引越費用の 1/2 (上限 5 万円分)



住宅購入支援事業

移住・定住を促進し地域の活性化に寄与するために住宅を新築または購入し居住した時に商品券を交付します。

支援額 住宅の購入費用(上限 5 万円分)
義務教育終了前の子と同居する場合は、
1人あたり 5 万円分を加算

紀宝町移住のここがおすすめ !!

海・山・川の恵みに抱かれたまち

紀宝町は、三重県最南端に位置しており、熊野川や七里御浜などの世界遺産を有する悠久の歴史が育んだ自然が魅力の町です。温暖な気候や豊かな自然を感じながら、のどかな暮らしや子育てを、地域一体となって行うことができる生活環境は、都市部ではない田舎ならではの魅力です。



充実したサポート体制

空き家バンク制度や農林水産業の就業支援、子どもの医療費支援、ファミリーサポートセンターなど生活支援制度も充実していますので、田舎への移住をお考えの方は何でもお気軽にご相談ください。

お試し住宅制度

移住を検討している方のために、町内の住宅を無料で貸出し、お試し生活をしていただく取り組みを実施しています。

利用期間：1泊2日～6泊7日 利用料：無料



その他にも色々な支援事業を行っています。
詳しくは、QRコードから町ホームページをご覧ください。



紀宝町全体マップ

JR線

県道

浜街道

国道

一般道

登山道



紀宝町の概要

紀宝町は、平成18(2006)年1月10日、旧紀宝町と旧鵜殿村の合併により誕生しました。

紀伊半島の南東部に位置し、三重県の南玄関となっており、東は熊野灘に面し、北は御浜町、西は熊野市、南は熊野川を隔てて和歌山県新宮市と接しています。

町の面積は79.62平方キロメートルで、北西部には紀伊山地からつながる山塊が広く分布し、南東部には住宅地や商業地、港湾を活用した製紙工場や製材工場などが立地しています。



